

2004年1月15日

会社名 株式会社 大丸
 コード番号 8234
 代表者名 取締役会長 奥田 務

2003年12月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	12月度	9~12月累計
百貨店業	4.0	5.9
スーパーマーケット業	4.0	3.1
卸売業	3.5	4.7
その他事業	12.1	23.0
連結合計	0.4	1.7

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	12月度		9~12月累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	4.5	4.0	1.5	0.3
梅田店	1.0	0.4	0.2	0.0
東京店	0.2	3.7	2.3	3.1
京都店	3.0	5.3	0.2	4.5
山科店	1.8	-	1.1	-
神戸店	0.8	5.0	0.8	1.8
新長田店	8.7	-	8.2	-
須磨店	2.9	-	3.2	-
芦屋店	4.3	-	3.2	-
札幌店	-	-	-	-
直営10店舗計	5.4	-	7.8	-
" 除く札幌店	2.3	1.6	0.8	0.3
博多大丸	1.4	-	0.5	-
下関大丸	0.6	5.6	0.9	0.5
高知大丸	3.1	3.4	3.5	7.4
今治大丸	4.6	1.1	2.9	0.1
百貨店業合計	4.0 (1.9)	-	5.9 (0.6)	-

(注) ・博多大丸は前年3月より長崎大丸を統合したため、対前年増減率は長崎大丸分を含む。
 ・直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸の5店計である。
 ・百貨店合計売上高の()内数値は、除く札幌店の既存店対前年増減率。

2) 札幌店(単位:百万円、千人)

	12月度		9~12月累計	
	合計	入店客数	合計	入店客数
実績	3,979	1,790	13,460	6,581

(注) ・中間決算発表時に下期目標値を、従来の173億円から185億円に上方修正。

(売上動向)

- ・12月は38億円の目標に対して3,979百万円で4.7%増であった。
 9~12月累計では、上方修正した目標に対し、560百万円(4.3%)上回っている。
- ・商品部別では、婦人服・婦人雑貨・紳士服の各部において、クリスマスギフト需要が好調に推移。
 特に特選ブランドの雑貨、アクセサリ、紳士洋品雑貨などが嵩上げの牽引役となった。
 また食品部は年末年始に向けての食材が活発に動き、好調を維持した。

3) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	12月 度		9~12月 累 計	
	合計	除く札幌店	合計	除く札幌店
紳士服・洋品	7.4	1.7	6.2	0.4
婦人服・洋品	7.8	1.0	7.8	1.3
子供服・洋品	7.5	0.8	6.6	1.0
その他の衣料品	1.7	3.6	4.5	1.4
衣料品計	7.3	0.4	7.3	1.1
身の回り品	10.6	1.3	10.0	1.1
家具	10.3	1.8	9.9	2.1
家電	20.9	20.9	18.0	18.0
その他の家庭用品	0.9	5.6	4.7	0.6
家庭用品計	0.6	4.7	4.4	1.2
食 料 品	0.8	5.8	7.3	0.9
食堂・喫茶	14.0	8.4	16.3	7.2
雑 貨	1.6	3.1	6.2	0.6
サ ー ビ ス	43.4	40.0	41.2	37.7
そ の 他	42.4	39.5	3.7	0.6
合 計	5.4	2.3	7.8	0.8

3. 概況

1) 百貨店業

- ・12月の単体の売上高は、対前年5.4%増、除く札幌店では、同 2.3%であった。
- ・商品別では、歳暮ギフトが11月への前倒しとなった結果、売上構成比の高い12月の食料品は対前年 5.8%となり、全体売上の足を引っばる結果となった。
一方、衣料品は、前半気温が高く重衣料の動きが悪かったが、中旬以降の気温低下により紳士・婦人ともにコートが活発化し、対前年微減の 0.4%となった。
クリスマスギフト需要は、ハンドバッグとアクセサリ等を中心に好調に推移した。
(直営5店歳暮ギフト売上対前年増減率：11月度 12.1%増、12月度 12.3%、11~12月度累計 1.1%)
- ・高知大丸は昨年5月の食品売場の改装による効果と一昨年12月の高知西武の閉店セールの影響により、売上高は対前年3.1%増となった。

2) その他

- ・スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、依然厳しい消費・競争環境のなかで、全体は対前年 4.0%であった。地区別では関西地区(千里プラザ除く)の売上が対前年 4.8%、関東地区は同 2.8%であった。
関西地区の方が競争が激化しており、関東地区より低い伸び率となっている。
- ・卸売業の大丸興業売上高については、外食向け食材・建設資材などの受注減により、対前年 3.5%であった。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR推進部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343